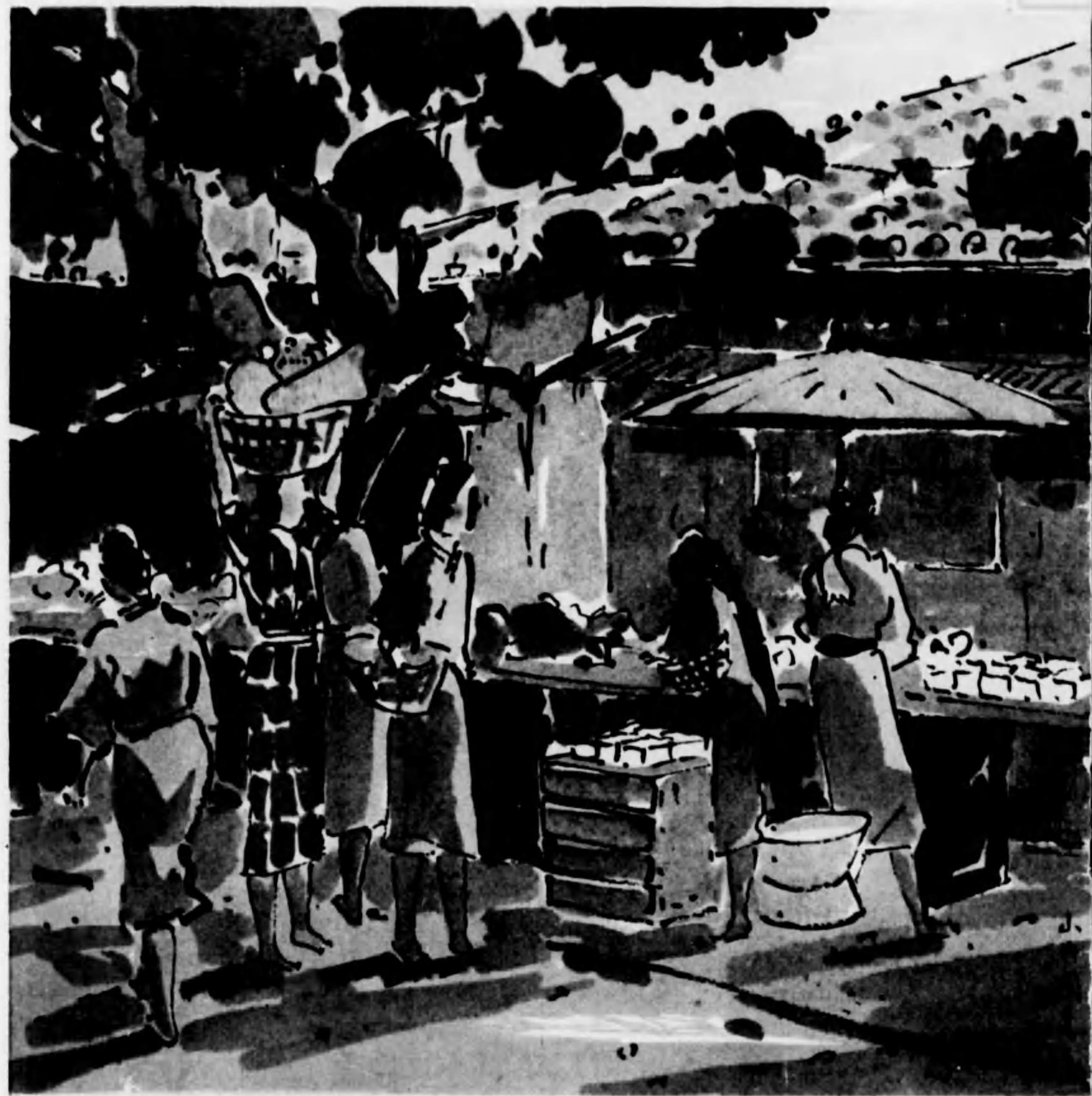


沖繩

沖繩

特27  
645



始



大阪商船

昭和二十年十二月



(廣瀬船隊兵衛船)

南溟の王國として古來數奇な歴史に育くまれ來つた沖繩は、今や産業振興計畫着々と成り、文化の粉飾を新たにしていわれらの南方關心線新鮮やかに浮び上つてをります。蘇鐵の山、榕樹の巨木、バナナの林、パイヤ、マングロー

ブ、熱帯果實の色——これを背景として琉球焼を作る男、蛇皮線をひくアングー(藝妓)たち、昔ながらの質朴敦厚な人情、珍らしい方言など、訪れる者をして一種のエキゾチックなシズムをさへ覚えさせます。沖繩はまさにたゞ一つ残されたわが國の「觀光處女地」であります。



丸島作

# 大阪那覇航路

阪神と沖繩とを結ぶ大阪那覇航路は明治十八年大阪商船が貨客の輸送を開始して以來、航路に幾多の改善を加へ、ひたすら沖繩の産業文化に貢献致して参りましたが、昭和十二年春を期して新造船波上丸、浮島丸の姉妹船を配して一段の改善を見る事となりました。ともに現代科學の最高標準を示す四、七〇〇噸級のデイズル新鋭船で、毎月五回、六月、十二月、十八日、廿四日、三十日(又四月には廿九日に船七回)、那覇の兩地を出帆し、往航神戸那覇間五十二時間、復航五十時間を以て連絡して居ります。

## 定期表

船名	大阪	那覇	神戸	那覇	大阪
浮島丸	六月廿四日	六月廿九日	七月三日	七月八日	七月十三日
波上丸	六月廿九日	七月三日	七月八日	七月十三日	七月十八日
浮島丸	七月十三日	七月十八日	七月廿三日	七月廿八日	八月二日
波上丸	七月十八日	七月廿三日	七月廿八日	八月三日	八月八日
浮島丸	八月二日	八月七日	八月十二日	八月十七日	八月廿二日
波上丸	八月七日	八月十二日	八月十七日	八月廿二日	八月廿七日
浮島丸	八月廿二日	八月廿七日	九月一日	九月六日	九月十一日
波上丸	八月廿七日	九月一日	九月六日	九月十一日	九月十六日
浮島丸	九月十一日	九月十六日	九月廿一日	九月廿六日	十月一日
波上丸	九月十六日	九月廿一日	九月廿六日	十月一日	十月六日
浮島丸	十月一日	十月六日	十月十一日	十月十六日	十月廿一日
波上丸	十月六日	十月十一日	十月十六日	十月廿一日	十月廿六日
浮島丸	十月廿一日	十月廿六日	十一月一日	十一月六日	十一月十一日
波上丸	十月廿六日	十一月一日	十一月六日	十一月十一日	十一月十六日
浮島丸	十一月十一日	十一月十六日	十一月廿一日	十一月廿六日	十二月一日
波上丸	十一月十六日	十一月廿一日	十一月廿六日	十二月一日	十二月六日
浮島丸	十二月一日	十二月六日	十二月十一日	十二月十六日	十二月廿一日
波上丸	十二月六日	十二月十一日	十二月十六日	十二月廿一日	十二月廿六日

毎月六日、十二日、十八日、廿四日、三十日、大阪及那覇兩地發。  
當分の間波上丸の代船として湖北丸を就航せしめます。  
但し波上丸復歸の節は浮島丸と同じ定期を踐行し、湖北丸の定期を廢します。

## 船賃表

船名	大阪	那覇	神戸	那覇	大阪
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
浮島丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇
波上丸	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇

右三等及び特別三等運賃は臨時減率を示します。  
往復の船中に於ける食事は船賃に含まれておます。  
御子連船賃  
十二歳未満は半額、四歳未満は御一人だけ無賃、御二人以上は御一名につき四分の一額宛いたゞきます。

## 團體割引

三〇人様以上	五分
五〇人様以上	一分
一〇〇人様以上	一分五分



一等特別室



二等食卓



三等特別室

## 御乗船の注意

一人に付、一等九十疋、二等七十疋、三等三十五疋までは無賃、此の制限量を超過する時は別に定むる規定により料金を申受けます。  
途中上陸解賣  
途中大島の名瀬に寄港しますが、「途中上陸」の際には船賃として、片道金十錢、(小兒は半額)を載きます。  
船内貴重毛布  
片道...二十錢  
向、一等、二等には寝具が備付けてあります。  
御乗降  
大阪では築港大棧橋に、神戸では中突堤に、那覇では市棧橋に横づけとなりますから御乗降とも御便利であります。

## 沖繩觀光プラン

その船で行つてその船で歸つてくる場合、神戸を出帆してから九日目にまた神戸へ歸着できます。向ふでは九三日碇泊いたしますからその間の觀光プランは、那覇の旅館を足場として大體左記の順序で御見物になるのが御便利でせう。那覇の旅館一泊三圓位。  
第一日午後二時 那覇入港  
波上宮参拜・護國寺参拜  
糸満町見物  
第二日 午前 工業指導所視察  
識名園見物(豫め許可證が必要)・首里城・首里博物館(十錢)午後 圓覺寺・泡盛工場見學・桃原農園(十錢)等視察  
第三日 午前 普天間宮参拜・滿座毛探勝・嘉手納製糖工場視察(豫め打合せが必要)  
第四日午前九時 那覇發  
那覇にはバスがありますが、短時間で多くの見物をするにはハイヤーが便利です。  
七人乗一日(午時前)二十圓位。

# 沖繩繩觀光御案内



波上宮



萬座毛に立ちて支那海を望む



那覇第二樓



沖繩の墳墓



ニバサ角魚の満糸

泡盛工場



糸満の市場



識名園



首里村の園樹の大樹

**沖繩の土産物**  
 朱塗の漆器、美術的な琉球  
 焼、芳醇な泡盛酒、宮古上  
 布、八重山上布、久米島袖  
 芭蕉布、バナナ、パイナップ  
 等の果物、蘇鐵、名護蘭、  
 クロトン等の熱帯樹等。

## 沖繩の方言

今日は好い天氣で御座います。  
 今日(今日は)は悪い天氣になりましたねー。  
 左様で御座います。  
 どうぞ御食(ご)が(り)下さい。  
 御免下さい。お出(い)下さい。  
 此處は何といふ所ですか。  
 貴方(あなた)の名は何と申(ま)しますか。  
 大層(お)御(ご)馳(ち)走(そう)になりました。ありがとうございます。  
 御座(ま)います。  
 それは何よりも御(ご)馳(ち)走(そう)で御座(ま)います。  
 貴方(あなた)の時計(とき)は何時(なんじ)ですか。  
 御(ご)座(ま)います。  
 御(ご)座(ま)います。  
 御(ご)座(ま)います。

**那覇市** 遠く数百年前の王國時代から、沖繩の海港として發達し來つた那覇市は、沖繩の政治經濟の中心地であります。明治四十年起工した築港工事は總計二百三十萬圓の工費を投じて完成し、千噸乃至三四千噸級の船を同時に五六隻繋留出來ます。市の人口七萬、舊那覇首里へはバスがあり、糸満、與那原、嘉手納の各地とは汽車で連絡してゐます。

**波上宮** 市の西北の丘上に鎮座し伊弉册命、事解男命、速玉男命の三體を祀る官幣小社で、海に臨みて斷崖數十丈、神域は壯麗で、絶佳の勝地であります。那覇市民は參詣に、散策に、納涼に頗る集致します。波上神社の石段を登る手前に、眞言宗の名刹護國寺があります。

**天章廟** 護國寺に隣接し沖繩に残る唯一の道教廟祠で、本尊の天尊像は傑作と云はれてゐます。

**奥武山公園** 那覇港の水が奥深く入江となつた漫湖に泛ぶ中の島は、奥武山公園と呼ばれてゐます。園内には松樹繁り、閑雅幽邃の地で、沖繩開拓の名知事、那覇築港の計畫者奈良原男爵の銅像があり、市の運動場があります。

**墳墓** 那覇到る處にある墳墓の立派なものには驚かされます。沖繩では墳墓は一種の財産であつて、之が遺骨に數千圓を投じ、産を傾け盡すものさへありと云はれ遺骸は一度木棺に納めて墳墓に葬りますが、後年洗骨を行ひ壺に入れて永遠に安置します。沖繩墳墓は壯麗なる死の殿堂とも呼ばれるべきでせう。

**崇元寺** 市内崇元寺町にあり、舊國王尙家の廟所で歴代の王と功臣を祀つてあります。建築は和漢折衷の手法に成り、且つ石壁の構造は甚だ巧緻を極め近年斯道大家の注目を惹きつゝあります。

**識名園** 汽車與那原線一日橋驛の附近にあり、尙侯尙家の有で園内には清流涼々の音をたて、流れ、林泉の美沖繩第一の名を得てゐます。

**首里市** 人口二萬餘、初代王國以來沖繩の首都として繁榮して來ましたが、那覇市に政治の中心が移つた今は閑寂な舊都として僅に往昔の礎を遺すのみであります。

**舊王城** 歴代國王の永く此處を居城として沖繩全局を支配せし處、城廓の周圍約半里、丘上に繞らして規模宏壯「百浦添御殿」の名で知られた名城であります。三層になつてゐる中央正殿は現在縣社沖繩神社拜殿で特別保護建造物に指定され、内部の梁柱は昇龍を描き明朝の制を擬して居ます。現存する守禮門、散會門、瑞泉門等荒廢したりと雖も琉球古建築として見るべき價値があります。

**圓覺寺** その昔尙眞王が京都の芥隱禪師を請じて、尙家の菩提寺として建立せしめたもので、山門、鐘樓、大殿、僧房等七堂伽藍今に存し、古建築の粹を誇る沖繩第一の巨刹で、天徳山と號し、禪宗の本山であります。

**龍潭池** 中城御殿の前面に水草に蔽はれて沈黙してゐますが、王朝華かなりし頃は龍船を泛かべて、支那の冊封使を饗應し、詩歌管弦の音が水面に鳴り亘つたと傳へられてゐます。

**糸満町** 獨特の剣舟に乗つて洋上に活躍する海の勇者、白人の血を混ずると云はれる糸満人の本據であつて夫婦でお互の私財を認め合つてゐる特異な經濟生活は、觀光客には珍らしい研究對象となりませう。



終

### 沖繩航路圖

赤線は那那航路  
黒線は他の航路



### 沖繩本島

